

# 第六次香川県保健医療計画 数値目標と進捗状況

資料 4

目標を達成しているもの・・・・・・・・・・・・・・・・・ ○  
 目標値に対し改善しているもの(50.0%以上)・・・・・ △  
 目標値に対し改善しているもの(50.0%未満)・・・・・ ▲  
 良くなっていないもの・・・・・・・・・・・・・・・・・ ×

## 1 がん

項目		策定時現状	目標	目標年次	直近の実績	左記の実績の時点	達成状況	出典	
がん	がんの年齢調整死亡率(75歳未満) (10万人当たり)	男性	102.0	88.2	29年度	101.9	平成27年	▲	国立がん研究センターがん情報センター
		女性	59.1	47.4	29年度	53.1	平成27年	△	
成人の喫煙率		18.0%	14.4%	29年度	集計中(18.0%)	平成28年(平成23年)		県民健康・栄養調査	
禁煙・分煙認定施設数		821施設	1,300施設	29年度	972施設	平成28年度末	▲	健康福祉総務課	
がん	がん検診の受診率	胃がん	30.1%	50%以上	29年度	40.4%	平成25年	△	国民生活基礎調査
		子宮がん	34.3%			45.8%	平成25年	△	国民生活基礎調査
		肺がん	27.0%			46.3%	平成25年	△	国民生活基礎調査
		乳がん	31.5%			46.5%	平成25年	△	国民生活基礎調査
		大腸がん	27.5%			39.6%	平成25年	△	国民生活基礎調査
がん検診精度管理・事業評価実施市町数		17市町(肺がん)	17市町	29年度	17市町	平成28年	○	健康福祉総務課	
拠点病院におけるチーム医療の体制整備		0病院	5病院	29年度	5病院	平成28年	○	健康福祉総務課	
緩和ケアチームを有するがん診療を行う医療機関の整備		11病院	15病院	29年度	11病院	平成26年	×	医療施設調査	
緩和ケア病棟(病床)を有する病院数		2病院	5病院	29年度	4病院	平成28年	△	診療報酬施設基準等	
地域がん登録事業協力機関数		22機関	30機関以上	29年度	87機関	平成27年	○	健康福祉総務課	
がん登録の精度向上	DCN	31.5%	25%未満	29年度	17.6%	平成25年	○	健康福祉総務課	
	DCO	23.9%	20%未満	29年度	6.5%	平成25年	○	健康福祉総務課	

## 2 脳卒中

項目		策定時現状	目標	目標年次	直近の実績	左記の実績の時点	達成状況	出典	
脳卒中	脳血管疾患の年齢調整死亡率 (人口10万人当たり)	男性	38.6	38.6	29年度	公表未(38.6)	平成27年度(平成22年度)		厚生労働省「都道府県別年齢調整死亡率」
		女性	20.6	20.6	29年度	公表未(20.6)	平成27年度(平成22年度)		厚生労働省「都道府県別年齢調整死亡率」
脳卒中地域連携クリティカルパス活用医療圏数		3医療圏	5医療圏	29年度	5医療圏	平成28年度末	○	医務国保課	

## 3 急性心筋梗塞

項目		策定時現状	目標	目標年次	直近の実績	左記の実績の時点	達成状況	出典	
心筋梗塞	急性心筋梗塞の年齢調整死亡率 (人口10万人当たり)	男性	16.7	12.5	29年度	公表未(16.7)	平成27年度(平成22年度)		厚生労働省「都道府県別年齢調整死亡率」
		女性	6.5	4.5	29年度	公表未(6.5)	平成27年度(平成22年度)		厚生労働省「都道府県別年齢調整死亡率」
急性心筋梗塞 地域連携クリティカルパスの導入		未導入	導入	29年度	導入	平成28年度末	○	医務国保課	

## 4 糖尿病

項目		策定時現状	目標	目標年次	直近の実績	左記の実績の時点	達成状況	出典	
糖尿病腎症による新規透析導入患者数(人口10万人当たり)		14.3	10.4	29年度	14.2	平成27年	▲	日本透析医学会「わが国の慢性透析療法の実況」	
糖尿病	糖尿病の年齢調整死亡率 (人口10万人当たり)	男性	8.5	6.7	29年度	公表未(8.5)	平成27年度(平成22年度)		厚生労働省「都道府県別年齢調整死亡率」
		女性	4.6	3.3	29年度	公表未(4.6)	平成27年度(平成22年度)		厚生労働省「都道府県別年齢調整死亡率」
糖尿病 地域連携クリティカルパスの導入		未導入	導入	29年度	導入	平成28年末	○	糖尿病実態調査	
日本糖尿病協会の歯科医師登録医数		43	90	29年度	37	平成29年5月9日	×	歯科医師会調査	

## 5 精神疾患

項目		策定時現状	目標	目標年次	直近の実績	左記の実績の時点	達成状況	出典
精神疾患	精神科医療相談窓口の設置	未設置	設置	29年度	設置	平成25年度	○	障害福祉課
	1年未満入院患者の平均退院率	72.3%	79.0%	※26年度	73.7%	平成26年度	▲	精神保健福祉資料
	在院期間5年以上かつ65歳以上の退院患者数	111人	133人	※26年度	(111人)	(平成22年度)		独自調査
	3ヶ月以内再入院率	23.7%	17.0%	29年度	21.0%	平成26年度	▲	精神保健福祉資料
	病院の退院患者平均在院日数	319.9日	304.1日	29年度	479.7日	平成26年度	×	患者調査
	指定一般相談支援事業所数	—	32か所	※26年度	32か所	平成29年4月1日	○	相談支援事業所一覧
	指定特定相談支援事業所数	—	36か所	※26年度	57か所	平成29年4月1日	○	相談支援事業所一覧
	地域活動支援センターⅠ型 利用人員	196人/日	259人/日	※26年度	220.0	平成27年度末	▲	かがわ障害者プラン進捗状況
	地域活動支援センターⅡ型 利用人員	102人/日	133人/日	※26年度	117.0	平成27年度末	▲	かがわ障害者プラン進捗状況
	地域活動支援センターⅢ型 利用人員	129人/日	152人/日	※26年度	140.0	平成27年度末	▲	かがわ障害者プラン進捗状況
最近1か月間にストレスを感じた人の割合	64.8%	58.3%	※34年度	集計中(64.8%)	平成28年度(平成23年度)		県民調査・栄養調査	
自殺死亡率(10万人当たり)	24.3人	平成9年以前の水準	29年度	16.2人	平成27年	△	人口動態調査	
認知症	認知症サポート医数	9人	13人	※26年度	34人	平成28年度末	○	
	もの忘れ相談医受講者数	275人	395人	※26年度	420人	平成28年度末	○	
	認知症キャラバン・メイト養成数	311人	550人	※26年度	986人	平成28年度末	○	認知症サポーターキャラバンHP
	認知症サポーター養成数(累計)	14,818人	25,000人	※27年度	74207人	平成28年度末	○	認知症サポーターキャラバンHP

## 6 在宅医療

項目		策定時現状	目標	目標年次	直近の実績	左記の実績の時点	達成状況	出典
在宅	在宅医療連携拠点数	1	5	29年度	3	平成27年度末	△	医務国保課
	訪問看護ステーション数	40	44	※26年度	84	平成28年度末	○	台帳
	医療介護地域連携クリティカルパスを導入している事業所数	38	100	29年度	94	平成28年度末	△	医務国保課

## 7 歯科医療

項目		策定時現状	目標	目標年次	直近の実績	左記の実績の時点	達成状況	出典		
歯科	乳幼児期	むし歯のない幼児	3歳児	74.2%	90%	34年度	77.2%	平成27年	▲	地域保健・健康増進事業報告
			5歳児	57.9%	70%		61.6%	平成28年	▲	香川県学校保健統計調査
		定期的にフッ化物歯面塗布をしている幼児の増加	34.5%	50%以上	集計中(34.5%)		平成29年(平成23年)		歯の健康とたばこの調査	
	学齢期	12歳児でう蝕のない者の増加	52.7%	65%	60.0%	平成27年度	△	香川県学校保健統計調査		
		歯肉に炎症があり、専門医(歯科医師)による診断が必要とされた高校生の減少	10.3%	5%	5.4%	平成28年度	△	香川県学校保健統計調査		
	成人期 高齢期	何でも食べることができる者の増加	60歳代	65.2%	80%	集計中(65.2%)	平成28年(平成23年)		県民健康・栄養調査	
		60歳で24歯以上の自分の歯を有する者の		78.1%	85%	集計中(78.1%)	平成28年(平成23年)		県民健康・栄養調査	
		80歳で20歯以上の自分の歯を有する者(8020達成者)の増加		40.4%	50%	集計中(40.4%)	平成28年(平成23年)		県民健康・栄養調査	
		進行した歯周炎を有する者の減少	40歳代	52.8%	25%	集計中(52.8%)	平成28年(平成23年)		県民健康・栄養調査	
		50歳代	38.5%	30%	集計中(38.5%)			県民健康・栄養調査		
	60歳代	64.2%	45%	集計中(64.2%)		県民健康・栄養調査				

## 8 上記以外の事業

項目	策定時現状	目標	目標年次	直近の実績	左記の実績の時点	達成状況	出典	
その他の事業等	香川県医学生修学資金貸付制度による県内従事医師数	2人	15人	※27年度	12名	平成28年末	△	医務国保課
	県内養成機関を卒業した看護職員の県内就業率	75%	77%	※27年度	72%	平成27年度末	×	看護師等学校養成所卒業生就業状況調査
	地域医療支援病院数	5病院	8病院	29年度	6病院	平成28年度末	▲	医務国保課
	人口10万人当たりの結核新規患者発生数	14.0人	13.0人以下	※27年度	14.2	平成28年	×	香川県感染症発生動向調査
	第一種感染症指定病床数	0床	2床	29年度	2床	平成28年度末	○	薬務感染症対策課
	第二種感染症指定病床数	18床	22床	29年度	18床	平成28年度末	×	薬務感染症対策課
	I C U（集中治療室）病床数	58床	75床	※27年度	70床	平成28年9月30日	△	ICU等病床数・職域病院等在院患者数調査票
	耐震化が完了した災害拠点病院の割合	50%	100%	26年度	100%	平成28年度末	○	医務国保課
	D M A T チーム数	20チーム	25チーム	29年度	31チーム	平成29年4月1日	○	医務国保課
	へき地医療拠点病院からへき地へ医師を派遣した回数	539回	現状維持	29年度	1384回	平成28年度末	○	医務国保課
	へき地医療拠点病院によるへき地への巡回診療の実施回数	737回	現状維持	29年度	753回	平成28年度末	○	医務国保課
	病院における医療安全についての相談窓口の設置	76箇所	全ての病院	29年度	79箇所	平成28年10月1日	▲	医療機能情報調査
	一般診療所における医療安全についての相談員の配置	324箇所	全ての診療所	29年度	343箇所	平成28年10月1日	▲	医療機能情報調査
	歯科診療所における医療安全についての相談員の配置	74箇所	全ての歯科診療所	29年度	111箇所	平成28年10月1日	▲	医療機能情報調査
	K - M I X 参加医療機関数	108	145	※27年度	137	平成28年度末	△	医務国保課

※他計画において、目標年次が定められている項目については、他の計画と併せて進行管理を行う。

### 達成状況の集計

項目	項目数	全体との割合
目標を達成しているもの	21	29%
目標値に対し改善しているもの (50.0%以上)	15	21%
目標値に対し改善しているもの (50.0%未満)	14	19%
良くなっていないもの	6	8%
集計中また未公表	16	22%
計	72	100%

# 香川県医療費適正化計画の進捗状況について

	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度 (目標)	見解	備考
住民の健康の保持の推進										
特定健康診査の実施率 (%)	42.6%	44.0%	46.3%	46.8%	47.3%	—	—	80%	平成22年度以降、実施率は継続して上昇しているが、上昇率は鈍化傾向にある。	平成29年度に目標値を設定
特定保健指導の実施率 (%)	20.0%	26.2%	27.4%	28.3%	27.7%	—	—	60%	平成22年度以降、実施率は微増していたが、平成26年度において、若干低下した。	平成29年度に目標値を設定
メタボリックシンドロームの 該当者及び予備群の減少 率(%)※平成20年度との 比較	-2.7%	-3.3%	-2.6%	-1.8%	-2.8%	—	—	25%	平成20年度と比較して、該当者及び予備群の割合は微増している。	—
たばこ対策 (喫煙率)	—	18%	—	—	—	—	—	14.4%	喫煙率の減少に向けて、禁煙・分煙施設認定制度などに取り組んでいる。 (※次回調査は平成28年度を予定)	平成29年度に目標値を設定
医療の効率的な提供の推進										
医療機能の強化・連携等を通じた平均在院日数の短縮(日)	30.4日	29.9日	29.1日	28.9日	28.2日	27.0日	—	29.6日	平成22年度以降、短縮し続けており、平成26年度時点で、平成29年度の目標を下回っている。	平成29年度に目標値を設定 (※介護療養病床を除く)
後発医薬品の使用促進 (数量ベース)	21.4% (旧指標)	22.2% (旧指標)	27.4% (旧指標)	30.2%(旧指標) 45.6%(新指標)	35.7%(旧指標) 53.7%(新指標)	38.4%(旧指標) 57.1%(新指標)	—	—	平成22年度以降の旧指標、平成25年度以降の新指標とも継続して使用率は上昇している。	—
医療に要する費用の見通し										
医療費(億円)	—	3469億円	3510億円	3571億円	3596億円	—	—	前3988億円 後3965億円	平成23年度以降、医療費は上昇を続けているが、伸び率は見込みよりも若干下回っている。	平成29年度の目標値について、医療費適正化前と医療費適正化後の両方を記載

※後発医薬品の使用促進のデータについて、旧指標とは『全医療用医薬品を分母とした後発医薬品の数量シェア』、新指標とは『後発医薬品のある先発医薬品および後発医薬品を分母とした数量シェア』のことです。